



アナンシエータの設定

アナンシエータは、Cisco Media Streaming Application サービスを使用する SCCP デバイスです。これを使用すると、Cisco Unified IP Phone およびゲートウェイに事前に録音したアナウンス(.wav ファイル) とトーンを Cisco Unified Communications Manager で再生できます。アナンシエータは、Cisco Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) と連携して動作し、Cisco Unified Communications Manager はコールが失敗した理由を発信者に知らせることができます。アナンシエータも転送されたコールと会議の一部のトーンを再生できます。

アナンシエータを検索および更新するには、次のトピックを参照してください。

- [始める前に \(P.63-1\)](#)
- [アナンシエータの検索 \(P.63-2\)](#)
- [アナンシエータの更新 \(P.63-3\)](#)
- [アナンシエータの設定値 \(P.63-4\)](#)
- [アナンシエータのリセット \(P.63-5\)](#)

始める前に

アナンシエータを設定する予定のサーバで Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスを有効にしたことを確認してください。



ヒント

Cisco Unified Communications Manager サーバを追加すると、サーバのアナンシエータがデータベースに自動的に追加されます。Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスをアクティブにすると、アナンシエータ デバイスが Cisco Unified Communications Manager に登録されます。[P.63-2 の「アナンシエータの検索」](#)を使用して、アナンシエータが存在するかどうかを確認します。

アナンシエータの検索

アナンシエータを検索する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [メディアリソース] > [アナンシエータ] の順に選択します。

[アナンシエータの検索と一覧表示 (Find and List Annunciators)] ウィンドウが表示されます。

特定のアナンシエータをすばやく検索するには、次の作業に従って検索条件を指定します。

ステップ 2 データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認し、**ステップ 3** に進んでください。

レコードをフィルタリングまたは検索する手順は、次のとおりです。

- 最初のドロップダウン リストボックスから、検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウン リストボックスから、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



(注) 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして、追加したすべての検索条件を削除してください。

ステップ 3 [検索] をクリックします。

すべてのレコード、または一致したレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウン リストボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。



(注) 該当するレコードの横にあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択] をクリックして [選択項目の削除] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコードを削除できます。

ステップ 4 表示されたレコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。



(注) リストのヘッダーに上矢印または下矢印がある場合、その矢印をクリックして、ソート順序を逆にします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

P.63-5 の「[関連項目](#)」を参照してください。

アナンシエータの更新

アナンシエータを更新する手順は、次のとおりです。

始める前に

アナンシエータを更新する前に、次の作業が完了していることを確認します。

- 適切なサーバを設定する。
- デバイス プールを設定する。

手順

ステップ 1 [メディアリソース] > [アナンシエータ] の順に選択します。

[アナンシエータの検索と一覧表示 (Find and List Annunciators)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 アナンシエータを更新するには、該当するアナンシエータを見つけます (P.63-2 の「アナンシエータの検索」を参照)。



ヒント Cisco Unified Communications Manager サーバを追加すると、サーバのアナンシエータがデータベースに自動的に追加されます。Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスをアクティブにすると、アナンシエータ デバイスが Cisco Unified Communications Manager に登録されます。

ステップ 3 更新するアナンシエータをクリックし、**ステップ 4** に進みます。

ステップ 4 適切な設定値を入力します (表 63-1 を参照)。

ステップ 5 [保存] をクリックします。

ステップ 6 Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスがアクティブになっていることを確認します。サービスのアクティブ化については、『Cisco Unified Communications Manager Serviceability アドミニストレーションガイド』を参照してください。

追加情報

P.63-5 の「関連項目」を参照してください。

アナンシエータの設定値

表 63-1 では、アナンシエータの設定値について説明します。関連する手順の詳細については、P.63-5 の「[関連項目](#)」を参照してください。

表 63-1 アナンシエータの設定値

フィールド	説明
[サーバ (Server)]	設定済みのサーバ（インストール時に追加されたサーバ）が自動的に表示されます。
[名前]	デバイスが Cisco Unified Communications Manager に登録される場合、このフィールドには使用される名前を指定します。最大 15 文字の英数字（ピリオド、ダッシュ、および下線も使用可能）で名前を入力します。
[説明]	最大 54 文字の英数字（ピリオド、ダッシュ、および下線も使用可能）で説明を入力します。デフォルトでは、サーバ名（プレフィックス ANN_ を含む）が使用されています。
[デバイスプール]	[Default] を選択するか、または設定したデバイス プールのドロップダウンリストからデバイス プールを選択します。
[ロケーション (Location)]	このアナンシエータに適切なロケーションを選択します。ロケーションに [Hub_None] を設定すると、そのロケーションの機能では、このアナンシエータが消費する帯域幅を把握しません。

依存関係レコードへのアクセス

アナンシエータを使用しているデバイスを検索するには、[関連リンク] ドロップダウンリストメニューから **[依存関係レコード]** を選択し、**[移動]** をクリックします。依存関係レコードがシステムで使用可能になっていない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、P.A-4 の「[依存関係レコードへのアクセス](#)」を参照してください。

アナンシエータのリセット

アナンシエータをリセットする手順は、次のとおりです。

手順

-
- ステップ 1 P.63-2 の「アナンシエータの検索」の手順を使用して、アナンシエータを見つけます。
 - ステップ 2 リセットするアナンシエータをクリックします。
 - ステップ 3 [リセット] ボタンをクリックします。
 - ステップ 4 [デバイスリセット (Device Reset)] ウィンドウが表示されます。続行するには、[リセット] をクリックします。
-

追加情報

P.63-5 の「関連項目」を参照してください。

関連項目

- 始める前に (P.63-1)
- アナンシエータの検索 (P.63-2)
- アナンシエータの更新 (P.63-3)
- アナンシエータの設定値 (P.63-4)
- 依存関係レコードへのアクセス (P.63-4)
- アナンシエータのリセット (P.63-5)
- 依存関係レコード (P.A-1)
- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「Multilevel Precedence and Preemption」
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「アナンシエータ」

